

老人クラブ活動で快い地域づくりを

有老連 事務局長 前田 君人

老人クラブは終戦後、荒廃した社会の中で行政からの支援も無く「老後の幸せは自らの手で開こう」と自然に始められて現在まで継承されてきました。これからの老人クラブは、高齢者の健康づくり、生活支援活動の推進として、誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持って暮らし、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指しています。活動の実績を生かし、健康寿命の延伸と地域における支え合い活動のすそ野を広げるため、さらに健康づくりや友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動を目指しています。

老人クラブの生き残りについて考えてみると、問題点の多くは、役員の成り手がいない。若い人たちの加入がなく、そのまま老人クラブの高齢化が問題として浮き彫りになっていきます。また、外的要因として、コロナウイルス感染予防の観点からも、すでに3年間の3密を避けるために、クラブ活動に制限がかかり会員同士が、飲んで、食べて、しゃべって、腹から笑い、コミュニケーションを形成してきた本来の活動が制限されています。更に、定着しつつあるウイズコロナの社会変容を見据えた取

り組みの推進を掲げられて「新しい生活様式」に基づいて活動を推進されていますが、私達老人クラブ会員は高齢です。なかなか今まで歩んできた生活環境を変えることは、難しい点もあります。特に、オンライン、リモート等聞きなれない言葉ばかり……。

このような中、コロナウイルス感染症が撲滅とはいかないまでも、収束期が見えてきたように感じます。コロナ感染以前の生活スタイルが戻れば新たな出発です。新規会員加入に力を入れて新たな行事等を考えなければなりません。

この時、地域にくわしい高齢の人が、湧水での飲み水の確保など、これまで培ってきた知識をフルに活用して自分たちだけで生きていく様が描かれました。

老人クラブの会員はただ単に年を取っているのではなく、豊富な知識の人間です。

自分のために。行動することで必ず健康寿命も延びると思います。

会員の皆さま、色々あると思いますが、とにかく老人クラブの行事に参加しましょう。参加して意見を述べてください。よろしく願いします。

あ
と
が
ご
(編集後記)

新しい生活様式のなかで様々な行事を実施することができ、今回の有老連だよりは活動写真をたくさん掲載することができました。老人クラブの活動を少しでも多くの方に知っていただき、会員の加入促進につながる紙面づくりを目指して今年度も頑張りたいと思います。

印刷/御大宅印刷

有老連だより

2023.4月発行 第54号
発行責任者 有田町老人クラブ連合会会長 松尾 利興
発行 有田町老人クラブ連合会
西松浦町有田町西1001-1
有田町生涯学習センター3階
TEL 0955-43-2551

感謝、感謝の

一年でした



有田町
老人クラブ
連合会会長
松尾 利興

令和四年度が終わりました。コロナの収束ままならぬこの一年間、各単老役員の皆様、そして、単老一丸となって運営、参加、活躍していただいた約三千人の会員の方々に心からお礼申し上げます。

われわれ老人クラブ連合会は、どの世代でも輝くことのできる地域共生社会を築き上げるため、私たち高齢者もその一翼を担って、こうという決意のもと、

健康活動」、互いを助け合う「友愛活動」、生き生きと暮らす「生きがい活動」、そして、住んでいる地域への「貢献活動」に取り組んで様々な活動を、この一年間も継続した展開してまいりました。

とは申しても、「コロナ」の影響が避けられませんでした。令和二年明けから繰り返し拡大してきたコロナには、体力的にも精神的にも大きなダメージを受けました。事業の取り組みに陰に陽にコロナから避けることができませんでした。

しかし、その厳しい中でも、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会ではたくさんの会員が笑顔で元気満ちと参加し盛り上げていただきました。

また、老人クラブ大会では森の博記念堂文化ホールが満員のなか、

講演や吹奏楽の音、を満喫しました。

さらに、友愛活動は各単老で地道に手を差し伸べてきました。子どもたちの見守りも毎朝通学路に立ったり、防犯活動にも励みまし

た。奉仕活動は一斉に清掃をやったり、花壇の世話などもやってきました。

そして、仲間作りのための会員増強にも励んできました。

また、リーダー研修会、友愛活動交流会などには担当の方々が積極的に参加し、力を養いました。

心から感謝申し上げます。

この有老連主催の事業と同時に、有田支部、西有田支部各支部独自の事業にも予定通りに滞りなく取り組み、成果をあげることができました。

改めてこの一年間を振り返りますと、有老連、各支部、各単老それぞれに悩みや問題があります。それらには、どうにか解決の方向に目途がつくもの、簡単にいかないものなど様々なものがあります。が、苦しく悩ましいなかでも誠実に取り組んでいただきました。担当の方々のご苦労、ご心痛を拝察



度でも、会員同士しっかり手を取り合ってがんばりましょう。

10/26

県老連グラウンドゴルフ大会



有老連代表選手は
優秀な成績を
収められました



10/7
ゲートボール
大会



9チーム46名が参加
第1ゲート通過するか!
緊張の瞬間

11/8 全老連創立60周年記念
全国老人クラブ大会において
全老連会長表彰を受賞



天皇皇后両陛下ご臨席の下、授賞式に臨みました

11/30

有田町危険物安全協会より
火災報知器贈呈

11/22

有田町老人クラブ大会

県警音楽隊はにやんこ
パトロールの演奏で
二セ電話詐欺防止を
呼びかけました



講師 塚部芳和氏による講話
演題は「一笑一若」

R5.1/18

中央共同募金会より
優良地区・団体として
中央募金会長表彰を受賞

R5.2/22

ゲートボール大会

10チーム49名が
参加しました



第1ゲート通過したかな?

有老連活動報告

5/11

ニュースポーツ研修会



5/18

定期総会

会員2903名で
新年度スタート



5/19 健康ウォーキング

参加者246名
新緑の龍門ダムを楽しみました



8/25
グラウンドゴルフ個人戦
参加者144名



9/22

交通安全街頭活動



有田地区
交通安全協会と
協力し、事故防止を
呼びかけました



9/29

選抜選手と役員親睦グラウンドゴルフ大会



148組の
296名が
参加しました



県大会にむけての壮行会

6/27
薬用植物視察

甘草を中心に栽培されてます



8/4 駅前清掃花植

役員の方々のお陰で
きれいな花を植付できました10/21
ベタンク大会11/18 女性部グランドゴルフ
初めての大会
123名参加2/17 EM菌研修会
北方町にて
女性部25名参加12/8
花苗植付

花いっぱい運動

6/1
輪投げ大会
229名参加ピンゴを
目指して

7/26 薬膳講演

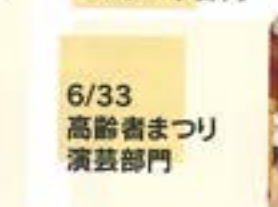
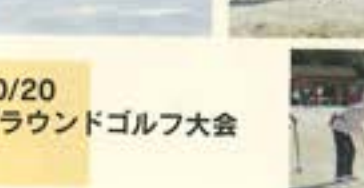
「漢方で考える健康を」を習いました

9/29
輪投げ大会

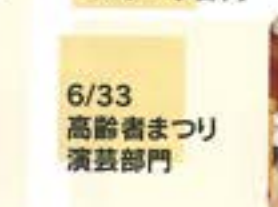
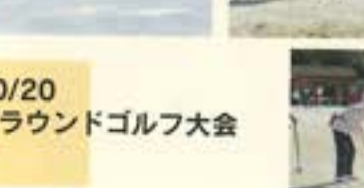
11/10 レクスボ大会

晴天のスポーツ日和で365名参加
ラジオ体操、輪投げ、ゴルフゲーム、
ボール入れ、マスゲーム等で
みんなで盛り上がりました

西有田支部活動報告

5/25
折り紙教室7/4
手芸教室9/8
女性部
グラウンドゴルフ
親睦会5/13
室内ベタンク競技大会6/16
高齢者まつり
スポーツ部門4/4
新入学児童へのマスコット贈呈

有田支部活動報告

7/4
手芸教室9/8
女性部
グラウンドゴルフ
親睦会5/13
室内ベタンク競技大会6/16
高齢者まつり
スポーツ部門4/4
新入学児童へのマスコット贈呈

一、地区内の美化活動でゴミと缶拾い。
二、内野神社の清掃活動。
三、女性役員による友愛活動。
四、スポーツとしてグラウンドゴルフを週3回練習と試合の参加。
五、月1度の役員会の実施と年2回の全員参加の例会と飲み会。
六、年2回の研修旅行。(コロナによりこの2年ほど実施はない)を行っています。
最近では会員の加入が少なくなり加入の促進が急務であると思っています。
素晴らしい風景と環境を大切に、会員同士の融和を図りながら少しでも良くなるよう頑張る所存です。



全国一斉社会奉仕の日



上内野では昔から人の名を呼ぶときには名字で呼ばず、名前で呼んでいたようで、今でもその風習が残っています。

上内野

「お才姫物語の里と国見山の懐に抱かれて」

私たちの住む国見山のすそ野なる地区は、上流にいくつもの堤があり、内野川の清流が上内野・下内野地区の田畑を潤していて、毎年沢山の米や野菜を生産しています。過去には大雨による大水害を経験し、また大干ばつも経験し、上内野・下内野の行政と農家の協力は強固なものです。私たちの老人クラブでは男性20名女性36名、計56名で構成しています。年齢は92歳から72歳です。



上内野では昔から人の名を呼ぶときには名字で呼ばず、名前で呼んでいたようで、今でもその風習が残っています。

大木宿

健康でしびとく長生きを

大木宿は、区内に小学校、保育園、郵便局などがあり、古来より地域の中心地です。
大木宿寿楽会は、65歳以上の男性68名、女性101名、計169名で構成されており、高齢者の就労意向や多趣味化が強まり、加入促進がままならない中、なんと7割台の加入率を維持しています。はたしていつまで維持できるのでしょうか？
どこの単老でも同じですが、コロナ禍で活動が制限されてきました。この2年ほどは、人が集まる総会やお花見、忘年会などの懇親会も開けず、年会費を引き下げてでも増えるのは会員のため息と会の繰越金ばかりという状況でした。もちろん、屋外活動を中心に、大山小学校前のMR沿線の通学道路沿いの草刈りやお寺周辺の清掃などの社会奉仕活動、健康づくりのグラウンドゴルフなどを定期的にやっています。

会員のため息と繰越金を少しは減らすことができました。
老人クラブの活動は、肩ひじ張らず「ほち、ほち」と、前ばかり見ないで、たまにはよそ見をしながら「健康でしびとく長生き」を目標に、4月からは通常の活動に戻れたらなと思っていますが、はたしてどうなるのでしょうか。



社会奉仕の日 清掃活動



毎月の例会状況

泉寿会 (泉山)

一区の原点と泉寿会

来訪者が最初に訪れる場所は「泉山磁石場」でしょう。朝鮮の陶工李参平が1616年に有田泉山の磁鉄を発見。400年超に亘り掘り続けられた磁石場に立てば有田焼の原点を感じます。次に「国の天然記念物・有田のイチヨウ」です。(推定樹齢千年、高さ40m、根回り11m) 1926年10月指定で今年97年を迎えます。
公孫樹下の公民館内に昭和39年11月結成の一区老人クラブ「泉寿会」があります。先輩方が築かれた泉寿会の継承が私たちの役割。そして「会員が礎」です。今後も「仲間づくり」、会員同士の「声の掛け合い」で「明るく楽しい会づくり」を目指します。会員増は、情報入手が最大難関です。会員からの情報、諸隣町議の入会と知人紹介、いきいき体操と例会同日開催からと様々です。2年間で70歳代が14名増の31名へ、同構成も30%が40%と推移、仲間づくり目標80名は目前。健康にご留意のうえ情報をお願いします。
有老連行事全参加の継続中。会員皆様の協力のお陰と感謝申し上げます。



全国一斉社会奉仕の日



高齢者まつりにて東京音頭を発表

参考
令和3年3月末62名→令和5年2月末76名の変化
60歳代5名→8名
70歳代17名→31名
80歳代以上40名→37名

長寿会 (丸尾)

健康長寿を目指して

石走る重水の上のさわらびの
萌え出づる春になりにけるかも
(万葉集 志貴皇子)
三月に入り、寒さが和らぎ過ごしやすくなってきました。
長寿会は三月末現在98名。男性30名、女性68名です。例会は毎月10日と決めており、50名前後が出席されます。コロナの前は当番で食事作り、例会後食事をしておりました。が、コロナ感染が拡大してからは、弁当を配布し、自宅で食べていただいています。
例会と同様、サロンは毎月30日と決め、毎回20名程度の出席があり、福祉協議会から講師を派遣していただいたり、自主企画で、頭の体操、室内ベタンク等を楽しみながら健康増進をはかっています。そのほか、健康増進のためにグラウンドゴルフを推奨しており三夜公園での練習をはじめ、有老連の大会にも積極的に参加するよう呼びかけを行っています。
そのほか、一人暮らしの方に声を掛け合う「友愛活動」も実践中。
写真は3月10日の例会の様子です。石井副会長より佐賀城本丸における女性部研修会の報告を兼ねて、特名君鍋島直正侯の について、特



例会の様子



に天然痘種痘の普及のために恩子の淳一郎(後の直大)に種痘を行ったこと、大砲製作の事、教育への情熱など詳しい報告がありました。最後は「三百六十五歩のマーチ」の手話でにぎやかに終わりました。
長寿会では、会員皆さんの融和と健康長寿を目指しております。